

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 92 平成28年4月号

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6階
TEL : 092-733-5707 e-mail : library@urc.or.jp福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力
して設立した研究機関です

目次

◆URC資料室ニュース

- ①資料室リニューアル完了・・・・・・・・・・・・・ 1
- ②平成28年度 第1回ナレッジコミュニティ開催予告 1

◆URCニュース

- ①新職員からのご挨拶・・・・・・・・・・・・・ 1

②平成27年度 第6回 都市セミナー開催報告・・・・・・ 2

③市民研究員副市長報告会開催報告・・・・・・・・・・・・・ 3

◆今月のおすすめ・・・・・・・・・・・・・ 3

◆URCメディア紹介情報・・・・・・・・・・・・・ 4

◆「資料速報 平成28年3月受入分」 別添

◆URC資料室ニュース

①都市政策資料室に新たな交流スペースが完成しました！

都市政策資料室は、研究所内の交流スペース拡大のために、アジア各国コーナーを移動し、蔵書のコンパクト化を行っていましたが、このほど、新しい交流スペースが完成しました。

交流スペースは、福岡市職員や賛助会員の会議室として使っていただくことができますが、会議がない時は利用者の皆様の閲覧スペースやコワーキングスペースとして開放する予定です。詳しい使用方法が決まりましたらお知らせいたします。



また、撤去しましたアジア各国の蔵書は、厳選の上、資料室北側の集密書架等で開架しております。置けなくなったアジア各国の資料は、廃棄するだけでなく、できるだけ公共図書館や大学図書館等、使っていただける機関にお譲りし、最後



これまでのアジア各国コーナー

は利用者の皆様でご希望の方に差し上げます。お時間とおありでしたら、是非お立ち寄りください。

写真出展：URC撮影（山崎三枝 司書）

②第1回ナレッジコミュニティ「【東アジアのビジネスハブ】を目指して」を開催します！

新たな交流スペースのお披露目を兼ねて、平成28年度第1回ナレッジコミュニティを開催します。

これまで当資料室は、平成18年度からミニセミナーを過去34回開催してきましたが、今年度から交流を重視した新たな事業にリニューアルいたします。講師による話題の提供をもとに、講師と出席者、出席者相互、資料室の資料とのさまざまな出会いに交流ができ、お仕事や日常生活を活力あるものにしていただけましたら幸いです。

リニューアル最初のテーマは、平成25年度からURC内に事務局を移し、4年目を迎えた福岡地域戦略推進協議会のご紹介です。福岡地域戦略推進協議会(FDC)は、福岡都市圏における産学官民による新たな成長モデルの構築のため、平成23年4月、シンク&ドゥタンクとして誕生し、現在活動を続けております。(写真はイメージです。) 皆様のご参加をお待ちしております。

写真提供：福岡市
「撮影者：Fumio Hashimoto」

◆URCニュース

①新職員からのご挨拶 副理事長 中沢 浩

4月1日付けで副理事長に就任しました。前職は、福岡市人事委員会事務局長で、福岡市職員の採用試験などに

携わっておりました。

福岡市は、世界の成長エンジンであるアジアに一番近い大都市として、そのポテンシャルを発揮し、50年後100年後の都市の礎を築くときを迎えており、さらなる

都市の成長を加速させるため「天神ビックバン」や「ウォーターフロントネクスト」などの大規模プロジェクトを進めています。

URCは、福岡市の全額出資法人として、その調査研究やアジアとのネットワークなどを通して、福岡市が進めるプロジェクトをサポートしていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局長(常務理事) 鹿毛 尚美

福岡市からの派遣により4月1日付で事務局長に赴任しました鹿毛(かげ)です。公益財団法人福岡アジア都市研究所は、ご存じのとおり自治体系調査研究機関(シンクタンク)ですが、少し前の研究者の全国的な調査で、

「都市間競争の激化や住民ニーズの高度化・多様化に加え財政悪化などの状況下で政策運営を的確に行うために新規設立が議会側からも要請されるなど、是非とも必要」とされる意見がある一方で、「事業内容が地域にとって有益か疑問視されているとか、調査研究活動を維持するための人材確保が困難であるなどの理由で組織整理の対象」と考えられているところもあるとの報告がなされています。

このように、期待と課題が混在する状況ではありますが、当研究所がその特性を最大限に活かしながら様々な取組を行い、なによりも市民の皆様にとって福岡市が一番の住みよい街であり続けるための一助となりますように、私もその一員として励みますので皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

②平成27年度第6回都市セミナー「グローバル人材活躍型都市形成に向けて —SNSによる外国人留学生の就職チャレンジ支援—」を開催しました。

3月16日水曜日午後2時から、福岡市役所15階講堂において、本年度の6回目の都市セミナーを開催しました。



政府は2015年から『外国人材活躍推進プログラム』の実施を通じ、国内企業等での就職を希望する留学生をはじめとする外国人と、外国人の採用に興味・関心のある国内企業等を結び付ける仕組みの強化に向けて取り組んでいます。

このセミナーでは、海外展開若しくはインバウンドビジネス向けの中小地場企業を対象に、留学生の個性を活かした交流の場の提供や、双方のマッチングのツールの一つとして、SNSの活用を取り上げ、福岡での実際の取組みや経験談を通じて、就職チャレンジ支援の可能性について議論を行いました。当日の流れとして、基調講演、事例報告、パネルディスカッションの3部構成で実施しました。

第1部では、留学生を積極的に採用し、福岡を拠点に上海とバンコクに進出しているITベンチャー企業株式会社ユウシステムの入江英也代表取締役社長により『外国人材を採用して—留学生と企業のネットワークの活用—』と題して講演して頂きました。入江氏は、福岡で働く留学生数を増やすためには、九州・福岡の経営者と人事担当者の意識が変わる事が必要であるとし、そのためには留学生と企業関係者の日常的な交流が大事で

あると述べた上、実際中国出身留学生の採用談などを丁寧で紹介して頂きました。

第2部では、弊所の柳研究主査より、『ICTを活用した外国人留学生の就職支援の可能性 - CIP (SNSを活用した元留学生による支援団体) の取組事例からの考察 -』と題して本年度の個別研究の報告を行いました。CIPは留学生の自己PR動画を活用した、留学生と市民との交流会(CIPカフェ)、留学生と企業関係者との交流会(CIPサロン)等を一年前から福岡市内で開催してきましたが、その成果と課題の解決に向けた取組みについての紹介がありました。

第3部では、留学生の採用や交流分野における専門の方々、実際自己PR動画を通じて就職に成功した元留学生をお招きし、『留学生の就職支援におけるSNS活用のメリットと課題』を題して、はあと international 株式会社入江ちほみ代表取締役社長の進行によりパネルディスカッションが行われました。

パネリストである河部正西日本国際財団事務局長は、履歴書に留学生自己PR動画のリンク先やQRコードを張り付け、企業側に配信することは革新的な取組みであると評価した一方で、CIP活動の成否は留学生個人の情報セキュリティをどう確保し、参加企業をどれだけ増やせるかにかかっていると指摘しました。また、SUITO

FUKUOK

Aのスタッフでフランス出身のパネサさんは、福岡の留学生が就職のために東京や

大阪などへ流れていくのを見てもったいないと感じており、その背景には独特な日本の企業文化があるとした



上、企業文化の違いを留学生に事前に知らせるなど、企業と留学生の双方が理解できるようにサポートすることが必要であると話しました。

会場には企業関係者や留学生、市民など約 70 人が参集しましたが、アンケートでは、「SNS を有効利用する方法について参考になった」「CIP のように複数の企業と留学生が同時に交流できるのは効率的・メリットが

双方にあると感じた」「外国人が始めた就職支援活動を軌道に乗せたい」など、概ね高評価を頂きました。今回の都市セミナーの内容や、頂いた意見を踏まえ、来年度の個別研究にさらに活かしたいと考えています。なお、セミナー当日の資料は、近日、当研究所ホームページにアップする予定ですので、ご参照ください。

写真出展：URC撮影(柳基憲 研究主査)

③平成27年度 市民研究員研究成果発表会、副市長報告会及び修了証授与式を行いました。

昨年7月から約9か月間にわたり活動を続けてきた平成27年度市民研究員6名による研究成果発表会を、平成28年3月12日土曜日13時30分から16時30分までアクロス福岡 2階 セミナー室2で行いま

した。

今年度は「アジアの先進モデル都市・福岡のまちづくり」をテーマに、これまで月2回の定例会における

議論や、個々による自主的な調査・研究、大牟田市への視察や中間報告会なども行い、大変充実した期間となりました。

市民研究員6名が、様々な視点から福岡のまちづくりについて、報告いたしました。ご参加くださいました皆様に、心からお礼申し上げます。

◆個別研究テーマは下記のとおりでした。(発表順)

『中国マーケットへの展開方策に関する実践的研究』

平野 紘輝さん

『先進モデル都市の実現に向けた諸問題への考察と提言』 河野 弘史さん

『市民の知を支える市立図書館の在り方についての検討』 岩井 千華さん

『福岡市における新たな宿泊サービス機能の拡充に関する研究』 伊東 克啓さん

『多文化共生の実現に向けた地域の取組み』

◆今月のおすすめ 「九州の社会資本整備—戦後70年のあゆみをたどる—」

「九州の自然災害と大地—戦後70年のつめ跡を振り返る—」等 樗木武著

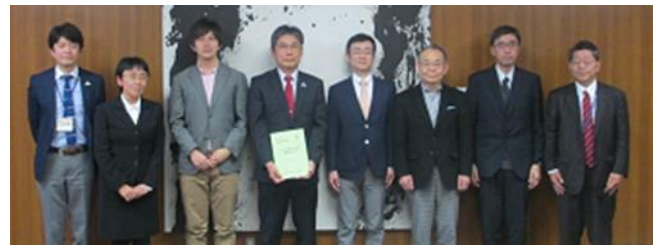
この度、標記資料を、樗木武前理事長からご提供いただきました。URCのホームページにPDFで公開しておりますが、資料室でも閲覧貸出できます。前者は、九州での社会資本整備の歴史を新幹線、高速道路、都市鉄道、一般鉄道、空港、港湾、道路橋、道路トンネル、河川、ダム等施設ごとにたどる内容になっており、後者は豪雨、渇水、台風、土砂災害、地震、火山噴火等災害の種類ごとにまとめられています。ご活用くださいましたら幸いです。

なお、平成23年6月に樗木武前理事長が関わる一般社団法人日本風景街道ネットワークから発行された「新・土木遺産 プロジェクト・九州—人の技術と情熱の物語—」を同時に受け入れております。合わせて読まれば、一層お楽しみいただけることとお勧めいたします。

岡田 憲二郎さん

『ミュージシャン・アーティストのまち・福岡形成戦略』

大澤 理宗さん



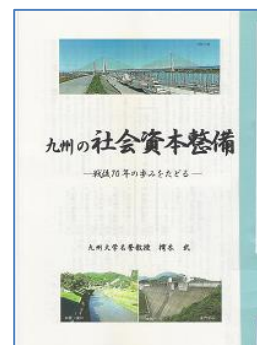
また、3月29日火曜日17時から、市役所に貞莉厚仁副市長を訪門し、研究成果の報告を行いました。副市長からは研究員1人1人の研究についてコメントをいただき、感激しました。

その後、研究所に戻り、当所副理事長による修了証の授与式があり、最後に、近くの飲食店での「慰労会」で締めくくりました。市民研究員の皆さんからは、「やり遂げた」という満足感が感じられました。

市民研究員の皆さんの研究成果を取りまとめた報告書は、今月下旬発行予定です。どうぞお楽しみに。



写真出展：URC撮影(岡田允 特別研究員)



(山崎三枝 司書)

◆URC メディア紹介情報—最近 1 か月の情報を中心に—

◎新聞

(2016/4/4 日本経済新聞 朝刊 11p)

地方 VB へ投資拡大 ゼロワンブスター 大企業と組み支援 エフベンチャーズ 福岡に独立系 VC マイナス金利も後押し

URC の開業率データが引用される。(※印=以下同じ)

(2016/4/1 毎日新聞 地方版 27p)

モンテディオ山形:山形大がホーム戦のフィールド調査 若者観戦客増へ/山形

URC OB 山本匡毅現山形大准教授が調査を指導

(2016/3/25 西日本新聞 朝刊 31p)

国連の都市づくり「ガイドライン」福岡市優良事例に 国内唯一 コンパクトな機能評価

野田順康特別研究員が策定チーム日本代表を務める。

(2016/3/24 河北新報 朝刊)

十和田市現代美術館特別展/地霊-呼び覚まされしもの ~写真の町東川賞コレクションより

市民研究員 OB 藤浩志さんが十和田市現代美術館として執筆

(2016/3/18 中部経済新聞 15p)

豊かに広がる「かえっこ」物の公館からアートまで/地域交流や防災活動も

市民研究員 OB 藤浩志さんが考案した取組みが全国各地に広がっている。

(2016/3/18 長崎新聞 9p)

九州地域戦略会議 長崎で地方創生シンポ/東京一極集中の是正を/人口減抑制へ意見交換

URC OB で企画委員の谷口博文さんが九経連行財政委員会副委員長としてパネリストを務める。

(2016/3/17 東奥日報 朝刊 24p)

館長に小池氏、副は児島氏 十和田市現代美術館

市民研究員 OB 藤浩志さん十和田市現代美術館長を退任、アドバイザー・ボードメンバーへ

(2016/3/16 建通新聞(静岡版) 4p)

浜松市 PPP 推進で官民連携フォーラム

URC OB で企画委員の谷口博文さんが九州大学産学連携センター教授として講演

(2016/3/13 京都新聞 朝刊 22p)

地域文化のあり方議論 舞鶴でシンポ「仕掛人」が活動報告

市民研究員 OB 藤浩志さんがパネリストとして発言

(2016/3/12 西日本新聞 朝刊 27p)

西日本新聞 TNC 文化サークル アイ&カルテヤ天神

★4月開講新講座万葉に元気をもらおう歌碑めぐり

市民研究員 OG 井上光枝さんが講師を務める講座の開催予告

(2016/3/11 秋田魁新報 朝刊 28p)

15日、秋田市の秋田公立美大でシンポ 海外政策の重要性語る

市民研究員 OB 藤浩志さんが2部のパネリストとして発言

(2016/3/10 西日本新聞 夕刊 11p)

情報 講演会●グローバル人材活躍型都市形成に向けて 平成27年度第6回都市セミナーの開催予告

(2016/3/10 南日本新聞 朝刊 22p)

歴代受賞者の意欲作ずらり/鹿児島市春の新人賞40回記念展

市民研究員 OB 藤浩志さんの作品が展示される。(※印=以下同じ)

(2016/3/8 住宅新報 17p)

読み解く目線(4)中古市場活性化と空き家築年数の多さを祝うマンション

市民研究員 OB 吉原勝己さんの所有するマンションが紹介される。

(2016/3/4 朝日新聞 朝刊 29p)

芸術家支え、40回記念催し 鹿児島市春の新人賞、きょうから/鹿児島県 @

◎雑誌

(2016/3/18 家主と地主 2016年4月号 58p)

リノベーション成功事例/吉原住宅 既存部分生かした昭和レトロな部屋 20代後半の男性が入居を決定 市民研究員 OB 吉原勝己さんの所有するマンションが紹介される。

(2016/3/10 国立国会図書館 調査と情報

NUMBER897: 国家戦略特区の概要と論点 7p)

II 国家戦略特区における取組 2 各区域の概要 (2) 各区域における事業の実施状況 *

◎テレビ

(2016/4/3 RKB 毎日放送 10:30~11:24)

サンデーウォッチ 福岡市の高島市長がゲストとして、天神ビッグバンなど明るい未来について話す。

久保隆行上席主任研究員が天神ビッグバンの経済効果などを解説

◎ラジオ

(2016/3/13 ローカルラジオ放送こみてん 19:00~19:55)

大名セントラルパーク

福岡地域戦略推進協議会石丸修平事務局長がゲストとして出演 主に福岡の観光、ナイトエンターテイメントなどについてトーク

(2016/3/11 ローカルラジオ放送こみてん 18:00~18:25)

スポガで Ready Bowl!!

市民研究員 OB 吉田勝さんが毎回進行している番組に柳基憲研究主査が出演

福岡市が外国人にとって住みやすく、働きやすいまちになるために、SNS を活用して留学生の支援を行う団体 CIP について紹介(※印=以下同じ)

(2016/3/7 NHK 総合ラジオ 5:00~5:55)

NHK マイあさラジオ マイあさだより「福岡」(午前5:40~5:46)に柳基憲研究主査とURC OB クマル・ダルメンドラさんが、元留学生と留学生による留学生のための就職支援団体 CIP の共同代表として出演 ◎